

第3回開発資金会議（FfD）
（アディスアベバ行動目標：骨子）

平成27年7月21日
地球規模課題総括課

【主な内容】※（）内はパラグラフの番号

I 序文（ポスト2015年開発アジェンダの資金のためのグローバル枠組み）

- 特別な状況にある国の多様なニーズ（8）
- 各国が自身の開発に第一義的責任を有し、それを国際的な環境が支える（9）
- 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップは政府が主導しつつ、マルチステークホルダーで支える。これは全ての国に適用されるが、各国の違いを考慮する（10）
- 相乗効果を生む分野横断的項目として、社会保障及び公的サービス（12）、飢餓と栄養不良撲滅（13）、インフラ・ギャップを埋める新規フォーラム設立（14）、包摂的で持続可能な工業化（15）、雇用及び中小企業対策（16）、生態系保護（17）、平和で包摂的な社会（18）を列記
- 持続可能な開発目標（SDGs）を含むポスト2015年開発アジェンダは、本行動目標に記載された具体的政策及び行動により実現（19）

II 行動

A 国内公的資金

- 持続可能な開発における各国の公共政策と国内資金動員及びその効果的な使用の中心性、汚職対策を含む国内環境整備の重要性（20）
- 租税国際協力及びその一環として国連国際租税協力専門家委員会の会期を年2回各4日間に増加（27, 28, 29）
- 仙台防災枠組に沿った総体的防災の発展・実施（34）

B 国内・国際民間ビジネス及び資金

- 民間企業の開発における重要性（35）
- 包摂的で持続可能な民間投資のための国内・国際環境の促進・創出（36）
- 民間投資を阻害するインフラ不足に対応するため、強靱で質の高いインフラ投資計画を国内開発戦略に組み込む（47）
- インフラ投資における官民投資の重要性（48）

C 国際開発協力

- 国際公的資金は各国の国内資金動員努力を補完するもの（50）
- ODA 数値目標（0.7%目標及びLDC向け0.15~0.20%目標）を再確認（51）
- 南南協力の重要性、途上国による南南協力の自主的強化を推奨（56, 57）

- 開発協力の質や効果を改善するための努力を歓迎（58）

D 開発のエンジンとしての国際貿易

- 開発における貿易の重要性（79）、持続可能な開発を貿易政策に統合（82）
- WTO のドーハ開発アジェンダ交渉の早期妥結に向けた各国努力強化を要請（83）

E 債務及び債務持続可能性

- 債務持続可能性に関し、債務者、債権者双方が協力する必要性（97）
- 自然災害等が債務持続可能性に与える影響、及びその対策（102）

F システム的課題への対処

- 世界経済ガバナンス向上及び強化のため行動（103）
- 途上国の参画（106）
- 国際金融、投資、貿易、開発、環境機関の一貫性強化（113）

G 科学技術、イノベーション、能力構築

- 革新、技術（114）、能力構築（115）の重要性
- 新技術創出にインセンティブを与える政策、環境整備（116）
- 技術促進メカニズム（TFM）をポスト 2015 年開発アジェンダ採択サミット時に立ち上げ（123）

III データ、モニタリング、フォローアップ

- データ及び統計システム整備の重要性（125、126）
- FfD とポスト 2015 年開発アジェンダの実施手段（MOI）の緊密な関連性（131）
- 2019 年までにフォローアップ会議の必要性を検討（134）

(了)